

国語（その一）

（注意 解答はすべて解答用紙に書くこと）

Ⅰ 次の文章を読んで、以下の問い（問一～問七）に答えなさい。

※枠内については、許諾の都合により、文章と問題の掲載を省略します。

国語（その二）

（注意 解答はすべて解答用紙に書くこと）

※枠内については、許諾の都合により、文章と問題の掲載を省略します。

国語 (その三)

(注意 解答はすべて解答用紙に書くこと)

※枠内については、許諾の都合により、文章と問題の掲載を省略します。

国語 (その四)

(注意 解答はすべて解答用紙に書くこと)

問一 傍線部(ア)～(シ)のうち、カタカナは常用漢字に改め、漢字の読みはひらがなを用いて、それぞれ解答欄に正しく記入しなさい。

問二 傍線部(一)「役割交替の社会的死」を端的に言い換えたことばは何か。該当する最も適切なことばを、本文中から四文字で抜き出し、解答欄に正しく記入しなさい。

問三 空欄(①)～(④)内に入るべき最も適切なことばを、以下の(a)～(g)からそれぞれ一つ選び、アルファベットで答えなさい。

- |              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|
| (a) 住民の高齢化   | (b) 生活用品の豊かさ | (c) 自然の喪失    |
| (d) 生活費の高さ   | (e) 地域の少子化   | (f) エコライフの充実 |
| (g) 環境の人工的整備 |              |              |

問四 傍線部(二)「長いものには巻かれよ」に最も近い意味を持つ成句を、以下①～⑤から一つ選び、番号で答えなさい。

- |              |                               |         |
|--------------|-------------------------------|---------|
| ①泣く子と地頭には勝てぬ | ② <sup>ひまし</sup> 廂を貸して母屋を取られる | ③負けるが勝ち |
| ④寄らば大樹の陰     | ⑤和して同ぜず                       |         |

問五 空欄(⑤)～(⑧)に入るべきことばとして、「弔慰」、「謝恩」のいずれが最も適切か。以下の(ア)、(イ)のうちいずれか一つを選んで、それぞれカタカナで解答欄に記入しなさい。

- (ア) 弔慰                      (イ) 謝恩

問六 以下に挙げた①～⑤は、傍線部(三)


内容は、本文が示す「報酬」、「慰撫」のいずれに該当するか。以下の(ア)、(イ)のいずれか一つを選んで、それぞれカタカナで解答欄に記入しなさい。

- (ア) 報酬                      (イ) 慰撫

① 短歌会の会長を長年務める中、会員同士のもめ事の仲裁に入ったり、会の存続のために奔走したりと、自らが矢面に立つてさまざまな問題を解決してきた。八十歳になったのを機に会長を後輩に譲ったら、皆が私を名誉会長にしてくれた。

② 不景気の時代を乗り越えて営んできた町工場が、大きな工場に吸収、合併されることになった。従業員の雇用を守る代わりに、社長である自分が引退することになった。そこへ、長年地域の産業へ貢献したとして、表彰の対象者に選ばれたと

国語(その五)

(注意 解答はすべて解答用紙に書くこと)

の連絡を受けた。

③長年、夫婦で商店を営んできたが、地元の再開発のため、親から受け継いだ店を仕方なく閉めた。目的を失っていたところ、近所の住民から保護猫の里親を頼まれ、飼ってみると可愛く、心の穴を埋めることができた。

④不景気の時代を乗り越えて町工場を営んできたが、円安や資源の高騰で支えきれなくなったため、仕方なく工場を売却し、そのお金を従業員の退職金に充てた。仕事がなくなったところへ、地元の要請でボランティア活動に参加したら、友人ができて生活に張りが生まれた。

⑤長年、短歌会の会長として会の発展に努めたが、内部の対立によって会が存続できなくなり、自ら責任を取って会長も辞めざるを得なくなった。失意のどん底にいたところ、後輩が私の歌集の出版を取り計らってくれた。

問七 以下①～⑤のうち、本文の内容に合致するものには○を、合致しないものには×をつけ、それぞれ解答欄に記入しなさい。

①社会の成員は誰でも、さまざまな事情に応じて、それまでの役割を辞し、身をひかなければならない時がある。家庭においては、父親・母親は、嫁や婿の世話役から身をひかなければならない。

②死は、生に対して何らかの暴力によってもたらされる。生存の本能のあるところでは、襲いかかってこれを否定し、破碎する暴力である。ただし、生存本能の側からいえば、老衰によるいわゆる自然死は例外である。

③聖戦は、敵の虐殺を正当化するとともに、味方の犠牲死を飾る論理を用意する。聖戦が敵の虐殺を正当化するのは、敵の死が神に命を献ずる殉教の死だからであり、味方の犠牲死を飾る論理とは、神罰を蒙っても戦うという考えである。

④人が社会から恩恵を受け、あるいは社会からの強制を蒙るのは、社会の成員として生きるからである。

⑤怨霊信仰は、天変地異の災害や疫病の流行が非業の死をとげた怨霊のたたりによるものだとする御霊信仰から始まった。

国語(その六)

(注意 解答はすべて解答用紙に書くこと)

Ⅱ 次の文章は、『大鏡』に収められた、九条殿(藤原師輔)が見た夢についての話である。これについて、以下の問い(問一～問六)に答えなさい。

(ア) おほかた、この九条殿、いとただ人にはおはしませぬにや、思し召しよるゆく末のことなども、かなはぬはなくぞおはしませける。(イ) 口惜しかりけることは、まだいと若くおはしませける時、「夢に、朱雀門の前に、左右の足を西東の大宮にさしやりて、北向きにて内裏を抱きて立てりとなむ(一) 見えつ」と仰せられけるを、御前になま(ウ) さかしき女房のさぶらひけるが、「(エ) いか<sup>また</sup>に御股痛くおはしませしつらむ」と申したりけるに、御夢違ひて、かく子孫は榮えさせたまへど、摂政・関白えしおはしませずなりにしなり。また御末に思はずなることのうちまじり、帥殿の御こと<sup>まじ</sup>なども、かれが違ひたるゆゑにはべるめり。「いみじき吉相の夢もあしざまにあはせつれば違ふ」と、昔より申し伝へてはべることなり。荒涼して注<sup>2</sup>、(ニ) 心知らざらむ人の前に、夢語り(三) な、この聞かせたまふ人々、しおはしませれそ。今ゆく末も九条殿の御末のみこそ、とにかくにつけて、ひろごり榮えさせ(四) たまはむ。

※『大鏡』より引用。

注1 藤原伊周が、太宰の権帥として左遷されたこと。

2 油断して、の意。

問一 傍線部(ア)～(エ)の現代語訳として、文脈に最も合致するものを、次の①～④からそれぞれ選び、番号で答えなさい。

- |                        |         |        |        |         |
|------------------------|---------|--------|--------|---------|
| (ア) おほかた               | ①もしかしたら | ②間違いなく | ③何となく  | ④だいたい   |
| (イ) 口惜しかりける            | ①残念だった  | ②後悔した  | ③早すぎた  | ④望みがあった |
| (ウ) さかしき               | ①奥ゆかしい  | ②ほめ上手な | ③いじわるな | ④小利口な   |
| (エ) いか <sup>また</sup> に | ①それでは   | ②どれほど  | ③かなり   | ④全く     |

問二 傍線部(一)「見えつ」を文法上正しい形に直し、解答欄に記入しなさい。

問三 傍線部(二)「心知らざらむ人」は、本文では具体的に誰をさすか。該当する最も適当な語を、本文中から二文字で抜き出し、解答欄に正しく記入しなさい。

問四 傍線部(三)「な」は、文法上どこに係るか。「な」に係るべき最も適当な箇所を、本文中から八文字で抜き出し、解答欄に正しく記入しなさい。

国語(その七)

(注意 解答はすべて解答用紙に書くこと)

問五 傍線部(四)「たまはむ」を文法上正しい形に直し、解答欄に記入しなさい。

問六 以下①～⑤の文のうち、本文の内容に合致するものには○を、合致しないものには×をつけ、それぞれ解答欄に記入しなさい。

- ①九条殿が若くして摂政・関白の位につくことができたのは、願い事が何でも叶う上に、ものごとを前向きに解釈する性格の持ち主だったからだ。
- ②九条殿が摂政・関白になれず、子孫の人生にも不幸な出来事が混じったのは、「北向きに内裏を抱く」夢を信じてしまったからだ。
- ③九条殿は、願い事が何でも叶ったが、素晴らしい夢を悪く解釈されたせいで、運勢が暗転してしまった。
- ④たとえ吉夢を見たとしても、悪く解釈をすると、良い夢が外れてしまうということが、昔から言い伝えられている。
- ⑤たとえ不吉な夢を見たとしても、前向きに解釈することで悪運を退けることができ、子孫繁栄にもつながる。

志望学科名	
受験番号	

II						I								
問六	問五	問四	問三	問二	問一	問七	問六	問五	問四	問三	問二	ケ	オ	ア
⑤					ア	⑤	①	⑤		①				
					イ		②			②		コ	カ	イ
					ウ		③			③		サ	キ	ウ
					エ		④			④		シ	ク	エ
													め	
													め	

合計	※
----	---

II	※
----	---

I	※
---	---



志望学科名	
受験番号	

I

問一

ア
停滞
イ
きようじゆ
ウ
さはん
エ
土砂

問二

オ
加担
カ
いまし(め)
キ
おのれ
ク
眺(め)

問三

ケ
主眼
コ
かいこ
サ
ひごう
シ
系譜

問二  
新陳代謝

問三

①
b
②
g
③
d
④
c

(①・②順不同)  
(③・④順不同)

問四

④
①

問五

⑤
イ
⑥
ア
⑦
イ
⑧
ア

問六

①
ア
②
ア
③
イ
④
イ

問七

⑤
イ
③
×
④
○

問七

①
×
②
×
③
×
④
○

問七

⑤
×
②
×
③
×
④
○

II

問一

ア
④
イ
①
ウ
④
エ
②

問二  
見えつる

問三  
女房

問四  
しおはしまされそ

問五  
たまはめ

問六

①
×
②
×
③
○
④
○

問六

⑤
×

合計
※

II
※

I
※